

〔特別企画要旨〕

## 公的医療保障制度の財源—税による支援と地域医療—

### Financing Health Care - Focusing on the Role of Municipality Hospital

生活経済学会第26回研究大会テーマ別分科会企画担当 一圓 光彌

ここに収載された地域医療を共通のテーマとする3論文は、2010年6月19日、20日に東北福祉大学で開催された生活経済学会第26回研究大会のテーマ別分科会「公的医療保障制度の財源—税による支援と地域医療—」の討議内容を論文として再編したものである。

私たちは、佐藤雅代主幹のもとで組織された平成22年度「関西大学経済・政治研究所、財政・社会保障制度研究班」で、地域医療に関する調査研究を進めていたが、第26回研究大会ではテーマ別分科会が設けられるとのことを知り、グループで報告させていただくことになった。

当日のセッションは、一圓の司会の下で3人の報告と2人の討論者による総合討論の形で進められた。3報告は、田畑雄紀による「医療保障制度の財源調達、配分方式の評価」、佐藤雅代による「地域医療の課題—受診動向と税財源の投入—」および遠藤誠作による「町立病院を核とした地域医療と福祉の連携」で、2人の討論者も自らの考えを提示し、芝田文男は「医療をめぐる環境の変化と国の補助金・診療報酬、公的病院の役割分担」について、また石井吉春は「自治体病院の民間化手法の効果を考える」と題して報告し、全体の討論をフロアも交えて行った。

研究大会でのテーマ別分科会という企画は第26回研究大会で取り入れられた新しい試みであったが、当日の報告討論を共通のテーマの下で論文として編集できれば、テーマ別分科会の趣旨を本誌にも生かすことができる。残念ながら別の雑誌での発表が決まっていた田畑報告と佐藤報告は本巻に収載できなかったが、他の3者には快諾を得てここに収載することができた。こうした形での私たちの論文収載を認めて下さった編集委員会には改めてお礼申し上げます。また当日いただいたフロアからの質問、コメントも私たちの論文作成に有益であった。記してお礼申し上げます。